

政策分析シート（平成24年度）

政策名	目標の設定と管理による行財政運営の戦略的推進				政策No	15	部名	総務企画部	
							部長名	北川	内線 2100
関連部名	区民生活部、監査事務局								
行政評価事業体系	分野	計画推進のために[VII]							
目的	目標の設定により成果を重視した戦略的な行政運営に取り組むとともに、行政改革の推進や事務事業の再点検により、財政の健全化に取り組み、安定的な財政運営を推進する。 また、更に質の高い行政サービスを提供するため、人材育成に努める。								
指標	政策の成果とする指標名		指標の推移				指標に関する説明		
			21年度	22年度	23年度	24年度 (見込み)			目標値 (28年度)
	①	行政評価分析シートの公開率	100%	100%	100%	100%	100%	対応・回答件数／申立数	
	②	経常収支比率	79.3%	85.7%	85.9%		75.0%	経常経費充当一般財源／経常一般財源総額×100	
	③	区民税徴収率（現年課税分）	96.00%	96.18%	96.73%	96.38%	98.00%	収入額／現年調定額×100	
現状と課題 （指標分析）	○これまで全庁をあげて行政改革の推進や事務事業の見直しや改善を行ってきた。今後は、基本計画等に掲げた指標に対する進捗状況の分析・評価を行い、更に行政改革等を推進することが求められている。 ○財政面では、各財政指標は健全な水準を維持しているが、景気の低迷による税収の減少もあり、引き続き費用対効果等を十分に見極め、効率的な財政運営を行っていくとともに、税収の安定的な確保に向けて徴収率の向上や滞納の整理に取り組む必要がある。 ○区で働くことに誇りを持ち、区民サービス向上の原動力である高い意欲を持つ職員を育成し、持続的に向上させていくよう、より戦略的な人事政策を展開していく必要がある。								
今後の方向性	《今までの成果及び指標分析を踏まえて》 ○行政評価及び行革に関するプラン等により、区民ニーズに的確に対応した行政サービスを提供する簡素で効率的な区政運営を実現する。 ○景気に左右されにくい強固な財政基盤の構築を引き続き図っていく。 ○人事考課制度の効率的な運用に努めていくとともに、荒川区職員ビジネスカレッジなど、職員が自発的に受講する研修についての一層の拡充を図る。 ○情報システムについては、今後とも低コストで使いやすい環境の整備と機能の充実を図り、業務効率の向上に努める。								

政策を構成する施策の分類			
施策名	政策推進のための分類		分類についての説明・意見等
	24年度 設 定	25年度 設 定	
戦略的な政策形成と行政改革の推進[15-01]	重点的に推進	重点的に推進	区民に最も身近な自治体として、これまで以上に政策形成能力の向上を図り、より戦略的、計画的な区政運営を実践していく必要がある。 併せて、厳しい財政状況が続くと見込まれる中、区民ニーズを的確に捉え、行政評価システムの活用や行政改革をより機動的な実施をとおして、より効率的、効果的な施策展開を図っていかねばならない。
効率的な財政運営[15-02]	重点的に推進	重点的に推進	行政サービスの安定的かつ継続的な提供のためには、簡素で効率的な財政運営が不可欠であり、当該施策の優先度は極めて高い。
税収の安定的な確保[15-03]	重点的に推進	重点的に推進	自らの財源確保に責任をもつ自治体として、より強固な徴収体制の構築が喫緊の課題となっており、当該施策の優先度は極めて高い。
総合的な人事制度の確立[15-04]	重点的に推進	重点的に推進	効率的で、実効性の高い組織体制の確立は、今後の区政推進の基盤として極めて重要である。
職員研修等の充実[15-05]	重点的に推進	重点的に推進	職員育成と人材獲得のための取り組みは、いずれも活力ある強固な組織を形成するため、極めて重要である。
総合的な情報システムの確立[15-06]	推進	推進	セキュリティの向上や業務継続性の確保に万全を期しつつ、全庁の情報システムについて、より一層効率的・効果的な形へ再構築を図り、更なる区民サービスの向上や事務の効率化に資する。
区有財産の適正な管理・保全[15-07]	継続	継続	区有財産は、行政サービスを提供していく際の基盤となるものであり、経済的かつ効果的に利用されるよう維持管理していく。